

## 理事長退任のご挨拶

公益財団法人 金融情報システムセンター  
前理事長 細溝 清史



去る6月18日をもちまして、当センター理事長を退任致しました。2年にわたる在任期間中、会員企業の皆様より格別のご懇情を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

就任一年目は、金融機関等の情報システムの安全対策に関するデファクトスタンダードである安全対策基準の全面改訂に取り組みました。昨今の外部委託の進展、FinTechの活用等を踏まえ、外部の統制基準の整理・拡充を図るとともに、ITガバナンスに基づくリスクベースアプローチの考え方を導入し、平成30年3月に『金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書（第9版）』を世に出すことができました。

そして、二年目は安全対策の全面改訂を踏まえ、システム監査指針につきましても抜本的な見直しを行いました。国内外における最新の各種ガイドラインの考え方等を取り入れつつ、ITガバナンスに係る監査の重要性を訴えるとともに、サイバーセキュリティの監査項目を追加したほか、監査人が規範とすべき内容を「基準化」し、平成31年3月に『金融機関等のシステム監査基準』を発刊致しました。

この間、金融機関によるサイバーセキュリティ強化をサポートする仕組み作りにも力を注いで参りました。すなわち、金融機関におけるサイバーセキュリティに関するインシデント情報の収集・連携、還元を行うとともに、関係機関と連携の上、金融機関同士のネットワーク構築を目的としたサイバーセキュリティワークショップを全国で開催しております。

また、金融機関の各種新技術とそのリスク管理への対応も進めて参りました。オープンAPIに関しては、金融機関におけるオープンAPIに関する有識者検討会、ワーキンググループを設置し検討を行い、『API接続チェックリスト<2018年10月版>』を策定・公表致しました。ブロックチェーンに関しては、金融機関におけるブロックチェーンに関するワーキンググループを設立し、ブロックチェーンを導入する上での課題や解決策に加え、システムにおける安全対策上の留意点についてディスカッションを行い、その内容については、概要を取りまとめてホームページ上で公開しております。

金融機関にとって重要な課題となっている IT 人材の確保・育成については、平成 30 年 3 月に『金融機関等における IT 人材の確保・育成計画の策定のための手引書』を発刊致しました。IT 人材の確保・育成については、同手引書の発行後も具体的な取り組み事例を収集し、レポートとして還元しております。

この他、従来より実施している海外における金融分野の IT 利活用の調査に加え、香港、シンガポールにおいて安全対策基準（第 9 版）についての概要やクラウドに関する改訂内容を講演する等、当センターによるクロスボーダーの活動の幅も広げて参りました。

当センターが、上述のような充実した活動を進めることができたのも、会員の皆様の取材等へのご協力や、専門委員会・検討部会等における活発なご議論によるところが大きいと、感謝している次第です。

今後、当センターに課せられる役割はますます重要性を増してくると思います。

稲垣新理事長のもとで、環境変化に的確に対応した情報の提供、ガイドライン等の内容の一層の充実に努めていき、会員の皆様のご期待に応えてまいりますので、引き続き、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。